



赤や黄、ピンクに紫、あちこちで色々な花が咲き始め、待ちに待った一番華やかな季節がやってきました。寒くてついポケットに手を入れがちだった子どもたちも、手を広げてのびのび遊び回っています。この季節にはお弁当を作って、子どもと一緒に広い公園にお出かけしてみてもいいかもしれません。

第1回
出産を迎える親の見学会
日にち／ 7月 2日（金）
時間／ 10:00～11:00
対象／ 出産予定の方、0歳児保護者の方
持ち物／ 室内履き・くつを入れるビニール袋
場所／ 第二椎の実子供の家
一時預かり保育室 いちご組

ハイハイ練習方法！



赤ちゃんにハイハイの練習を始めさせるのはいつぐらい？

赤ちゃんの成長には個人差がありますが、大体7ヶ月くらいにずりばいを始め、生後8ヶ月頃からハイハイを始めます。その時期が目安。特に、腕の力で前進するずりばいや、ひじを使って前に進むひじばいなどの、ハイハイの前兆が見られる赤ちゃんは練習させてみましょう。ハイハイが上達するためには体の発達だけではなく、赤ちゃんにハイハイがしたい！と思わせるためのママのサポートも大切です。



① 四つん這いに慣れさせる

必ずママと一緒に行って下さい。布団やベッドの上で赤ちゃんを腹這いの状態にしてから、ママが両手でお腹のあたりを持ち上げて四つん這いにし、数秒間その姿勢を保ちます。これを何回か繰り返すことで、四つん這いの姿勢を保つことができます。

② 手を添えてサポートしてあげる

上手に前に進めないという場合は、赤ちゃんが踏ん張りやすいように、後ろから足の裏に手を添えてみましょう。

③ ママとハイハイ

ママが楽しそうにハイハイをして見せると、赤ちゃんはハイハイに興味を持つかもしれません。ママがハイハイで先導して、赤ちゃんに追いかけてさせるのがポイント。楽しい気分で、親子のふれあい遊びとしてもおすすめです。

④ 同年代の赤ちゃんと遊ばせる

月齢の近い赤ちゃんと遊ばせてみましょう。すでにハイハイができている子を見ることで、赤ちゃんは自然とハイハイに興味を持ち始めるはずですよ。

⑤ おもちゃを使ってハイハイを促す

おもちゃを使って赤ちゃんの興味を引き付けることで、ハイハイにつながる可能性があります。赤ちゃんが思わず追いかけてくくなるような、おもちゃを選んであげましょう。

赤ちゃんがハイハイを始めたら、どんどん移動することを楽しむでしょう。そのためにも安全な環境を心がけてください。

ハイハイの安全環境対策

- こまめに掃除をする。
- 床に物を置かない。
- コンセントや家具角にカバーをする。
- ベビーゲートをつける。
- マットやカーペットを敷く。

この本よんでみよう！



くっついた



くっついた 三浦太郎作

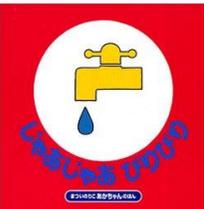
対象0歳児～

この絵本を読み聞かせると、子どもがピタぁ～っとくっついてきて、お父さんとお母さんが最高に幸せになれる赤ちゃんの絵本です。

じゃあじゃあびりびり まついのりこ作

対象0歳児～

赤ちゃんにも、言葉の響きやリズムの楽しさが分かります。初めての絵本にもびったり！



一時預かり
ご利用
下さい

お仕事や、お子様を連れて行くことが出来ないお出かけの時、大人のリフレッシュ時間などにご利用いただけます。

問合せ先/0422-44-4103（担当/金子）